

を混れば濁水となるではありませんか、人の精神も其通り、一度其精神に曇がかかり、穢を生ずれば、既に真正なる精神の体を失ひます、此真正の体を失つたのが、所謂病疾の根本をなすので御座いますから、それが神の御意志に随ひ「眞の我」に歸り、限りなき歡樂を受くるに至りますれば、恰かも明珠の研かれたと同じく、濁水の清水に歸つたのと同じく、何の穢れもなく、何の濁もなく、随つて疾病などはなくなるので御座います、

そこで、教祖は人間の疾病と云ふものは神の御力に依つて、必ず治癒すると証明されたので御座います、

然るに此教祖の御教を悟らず、前にも申しました通り、迷信、誤

解を爲して、徒に禁厭に依つて、其疾病を治癒せしめやうとし御神樂歌のお勤め勇しく見せて祈願する者があるが、これは大なる間違で、斯の如き事に依つて、神は決して病の治癒を與へられません、されば教祖も

「此處で勤めをして居れど、胸の判りた者はない」

と云つて、世の迷信誤解を叱咤されて居られます、之れに就いて面白い例が御座います、

それは昔或處に、お念佛の凝り塊りの婆様が御座いましたが、其婆様と云ふのは唯だお念佛は能く唱へて居りますが、心の方は少しも修まりませず、近所の子供を毆つたり、高利の金を貸したりなど

して居りました、恰度其隣に、それと同じ年頃の婆様が御座いました、それは又少しも念佛などは唱へず、全く佛心はないやうで御座いましたが、其實心の中では、始終神佛に祈願を罩めて居りました、斯う云ふ風に双方隣同士では御座いますが、全く其精神がけが違つて居りましたので、平生極めて仲が悪う御座いました、處か或日の事、雨の蕭々と降る夕暮で御座いましたが、一人の破れた衣を着た坊サンが参りまして、初め其信心者の處へ参りまして「私は旅の僧で御座いますが、今晚は御覽の通り雨に降られて、之れから此先の寺まで行くには一里餘もありて、逆ても行かれませぬから、何卒ぞ今晚、庇の下で一晩を明かさして頂きたい」と云つ

て、折入つてお頼みしました、之れが若し普通の人情を持つて居る人で御座いませば、それ程折入つての懇願で御座いますから、「さう云ふ譯なら宅は穢いが……」とか何とか云つて泊めてやるのが當然で御座います、殊に御自身は毎日念佛を鼻に掛けて居る信者の事故、先づ功德の爲め喜んで泊めねばなりません、けれども此婆様は前に云つたやうなる、腹からの信者ではない畢竟、教祖の申された様な「此處で勤めはして居れど胸の分りた者」でなかつたから、その懇願をすげなく断りました。

坊サンは雨に降られて居て、實に情けないと思ひましたけれど、何うも泊めて呉れぬ者は、實に致方がありません、そこで悄然と歩

を移して見ましたが、何うも雨に濡れて歩けぬ者と見え、再び引き返して、其隣へ行つて、又前の様に折入つて頼みました、處が其婆様は、口でこそは念佛をしまいが、心の分つた人でありましたから直ぐにそれを承諾したのみならず、『まア此の雨の中をさぞお困りでしたらう……モツと中へ、遠慮せずに……』と云つたやうな譯で家の中へ請じ、御飯よ、お茶よと云つて、實に親切を盡されました。

其翌年の事で御座います、人の世は遂に常なく、念佛の婆様も死ねば、唱へぬ方の婆様も死にました、最も二人死んだと云つても無論一緒では御座いません、處が不思議な事には、其念佛を唱へぬ方

の婆様は後から死んだので御座いますが、佛教で云ふ三途の川とかへ参りますと、念佛の婆様は未だ其川が渡れずに、四苦八苦をして居りましたので、段々様子を聞いて見ると、地獄からの御使に對して無禮を加へた事があるとの事で御座います、で能く／＼考へて見ると、前の年に旅僧に宿を貸さぬ事があつたと云ふ事が分かりました、それに引き返へ念佛を心に唱へた婆様は極樂の歡樂を受けたと云ふ事で御座います、

之れは勿論事實あつた話か、何うか分りませぬけれど、天理大神の御心を知らずして、唯だ形式のみに勤めて居るのは、之れと同じだらうと思ひます、尤も形式を全く捨てるに云ふ事は、其本義に悖

つた話で御座いますから、其唱へぬ婆様も決して褒めた話では御座りませぬ、けれど唯だ形にはかり勤めて居ましても、心が上の空で御座いましては、根つから信心にはなりません、信心にならねば勿論疾病も根本的に治癒する事は出来ません次第で御座いますから、天理教徒は偽りの御神樂歌などを廢して、一意専念神を信じ奉りて祈願を罩めねばなりません、のみならず、誤つた信心をするが如きは、神の御高德を汚すの甚しきもので、神に對する一大不敬と申さねばなりません。

明治四十三年六月廿七日印刷  
 明治四十三年六月廿一日發行

正價郵稅共  
 金貳拾五錢

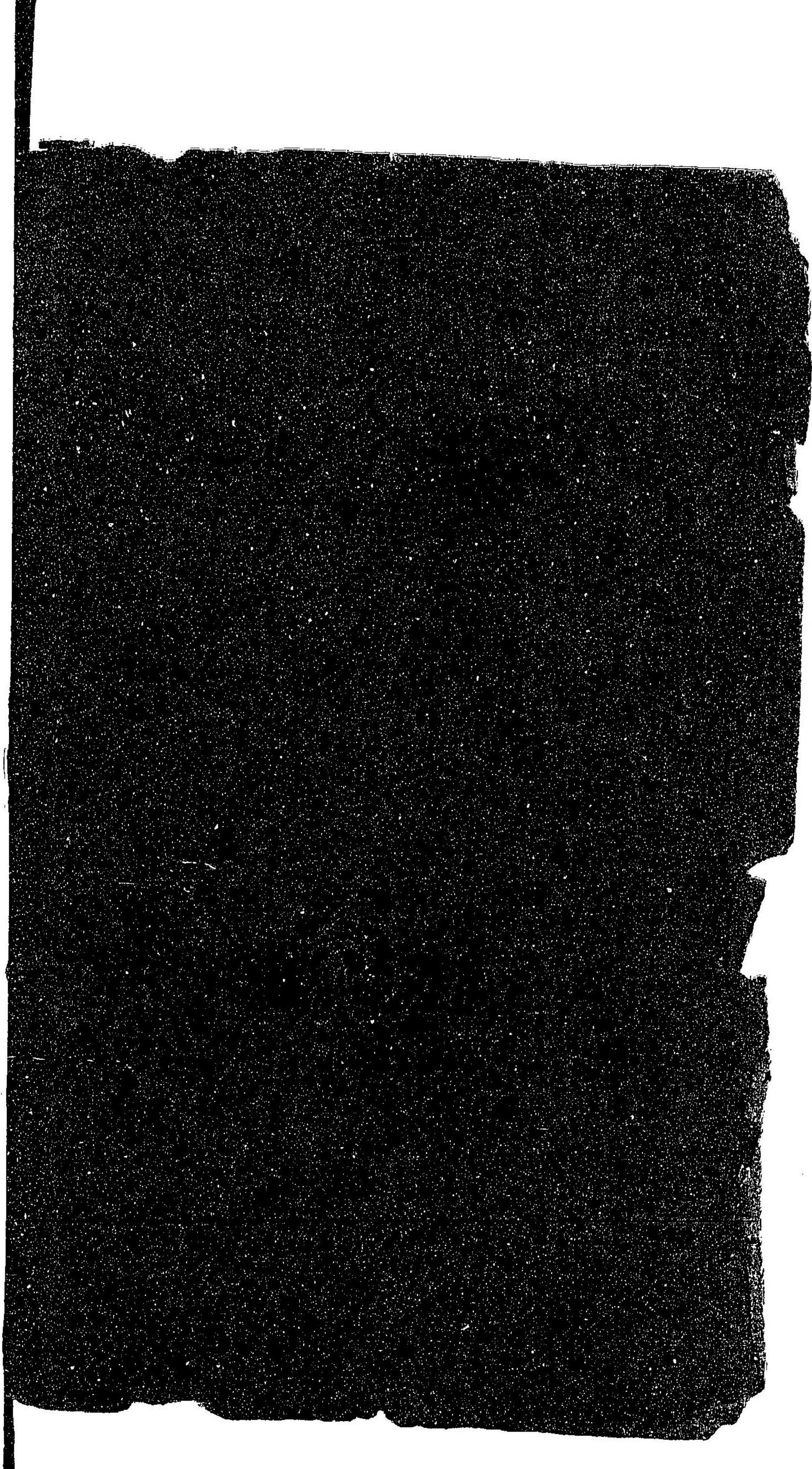
不許複製

発行所 編輯者 出水彌太郎  
 東京市京橋區月島東河岸通七丁目二番地

印刷者 名子重智  
 東京市深川區相川町四番地  
 印刷所 名子印刷所  
 東京市深川區西大工町十番地

發行所 神德社  
 振替貯金口座東京一九七四六番

261  
345



特 71

750

301333-001-8

特71-750

教話の葉

出水弥太郎

M43.6

ABB-0001

